

平成30年度 部活動活動結果

秋季総合体育大会の結果（文化部は大会の結果）をお知らせします。

運動部

陸上競技部

結果

男子 110mH 決勝 太田 彪真 3位
女子 走高跳 決勝 中島 真生 4位
女子 4×100mR 決勝4位 池松 杏香・濱田 りりあ
山中 愛結・田村 香歩
男子 4×100mR 決勝1位 中尾 輝・垣下 ルアン
則貞 魁・椎野 隆介
女子 200m 決勝 池松 杏香 4位
男子 200m 決勝 椎野 隆介 1位
女子 100m 決勝 池松 杏香 2位大会新
田村 香歩 6位
女子 4×400mR 決勝6位 田村 香歩・池松 杏香
山中 愛結・濱田 りりあ
男子 4×400mR 決勝4位 則貞 魁・椎野 隆介
長谷川 侑輝・伴 孝志
男子 三段跳決勝 西藤 我空 8位
女子 三段跳決勝 川那辺 野恵 6位

講評(顧問より)

9月近畿高校ユース(奈良)で8位入賞した男子4×100mRチームが念願の県大会初優勝、同近畿高校ユース3位の1年生池松杏香が女子100mにおいて大会新記録、1年太田彪真が110mHで3位、2年椎野隆介が向かい風の強い中で男子200m制するなど好成績を収めた。また、入賞者(8位以内)が13種目、男女4×100mR、4×400mRの4つのリレーすべてが6位以内に入賞するなどチーム力も上がってきている。来年度のインターハイ出場を目標にチーム一丸となって冬季練習に臨みたい。

テニス部 男子

結果

シングルス予選

松林 将貴 1回戦 VS 栗東 1-6 敗退
千代 蒼真 1回戦 VS 米原 6-3 勝利
2回戦 VS 国際情報 2-6 敗退
三宅 真平 1回戦 VS 玉川 1-6 敗退
黒田 涼 1回戦 VS 栗東 6-4 勝利
2回戦 VS 立命館守山 2-6 敗退
上嶋悠月 1回戦 VS 彦根工業 2-6 敗退

ダブルス予選

松林・千代 1回戦 VS 膳所 4-6 敗退
三宅・上嶋 1回戦 VS 守山北 1-6 敗退

講評(顧問より)

シングルス・ダブルスともに期待していた結果には及ばなかった。練習の成果もあってナイスショットもよく見られたが、反面、要所要所での取りこぼしやイージーミスも散見された。技術以外での弱さが出てしまったと感じた。今後の課題を各選手が感じたので一步一步レベルアップを図っていく。

テニス部 女子

結果

シングルス予選

(第1回戦) 荒木 遥奈(石部) 6-3 大津高校
(第2回戦) 荒木 遥奈(石部) 3-6 栗東高校 2回戦敗退
◎本戦出場ならず

講評(顧問より)

4月から硬式を始め、かなり実力をつけてきた。夏の合宿で、硬式の色々なショットについて学び、習得したので、かなり実力面で伸びた。テニスの素質も旺盛に持っており、向上心もあるなので、これからの飛躍が期待できるプレーヤーである。

バドミントン部

結果

男女いずれも団体戦 オープン参加

男子 石部 0 — 5 河瀬

女子 石部 1 — 4 米原

講評(顧問より)

男女とも団体戦出場に人数が足りなかったため、他校との合同でオープン参加の出場だった。日頃の練習の成果をどれだけ発揮できるかということがテーマで試合をしたが、試合の緊張感と相手の迫力に押され、全体的に悔しい内容の試合だった。

しかし、時には有利にラリーを進める場面もあり、狙い澄ましたスマッシュも決まることがあった。女子はシングルスでひとつ勝てることもできた。これからもコツコツと練習を積み重ね、次の試合へつなげたい。

バレーボール部 女子

予選トーナメント

石部 東大津

[2 1 — 2 5]
[2 0 — 2 5]

決勝トーナメント

石部 大津商業

[2 5 — 1 6]
[2 5 — 1 2]

石部 玉川

[2 0 — 2 5]
[2 1 — 2 5]

講評(顧問より)

初日の東大津戦は、強気で攻めることができず、フェイントが多くなり、これといったミスがないにも関わらず、敗退を喫した。敗者復活戦では調子が出ないながらも、なんとか勝ち切ることができた。

2日目の玉川戦では、前日の反省を活かし、チームとして1つになって試合に臨むことができた。ストレート負けではあるが、2セット目は途中大きく点差を離してリードする場面もあった。しかし、玉川の攻める姿勢に押され、逆転を許してしまった。守備力の弱さが課題として明確になった試合であった。目標のベスト16には届かなかったが、今後さらに強くなれると確信している。今後とも是非応援していただきたい。

卓球部

結果

学校対抗戦	1回戦	本校ー長浜農	不戦勝
	2回戦	本校ー膳所	0ー3で敗退
ダブルス	1回戦	西田・伊東ペアー湖南農	0ー3で敗退
		松田・木村ペアー八日市	0ー3で敗退
シングルス	1回戦	伊東ー草津東	0ー3で敗退
		西田ー八幡工	3ー2で勝利
	2回戦	西田ー甲南	3ー1で勝利
		松田ー兄弟社	0ー3で敗退
		木村ー栗東	3ー0で勝利
	3回戦	西田ー膳所	1ー3で敗退
		木村ー大津	0ー3で敗退

講評(顧問より)

学校対抗戦は不戦勝ながら、1回戦を突破した。これも団体戦に出られる人数を確保したからこそその成果である。

また、シングルスではしっかりと日常の練習ができている者が、それに見合う成果が出せたように感じる。

バスケットボール部 男子

結果(10/25)

石部	$\left(\begin{array}{l} 30-2 \\ 24-1 \\ 20-12 \\ 25-4 \end{array} \right)$	八日市南
99		19

(10/26)

石部	$\left(\begin{array}{l} 6-36 \\ 10-23 \\ 21-32 \\ 16-23 \end{array} \right)$	彦根工業
53		112

講評(顧問より)

3年生中心のチームで戦う最後の公式戦であった。彼らの代では公式戦で1度も勝てておらず、公式戦で勝利することの難しさを感じながら練習に取り組んできた。1日目はいい形でディフェンスが機能し、勝利。2日目は4位シードの彦根工業との試合であった。力の差がありながらも、練習してきたディフェンスを中心に最後まで戦う姿勢がみられた試合であった。点差が開いても全力で臨む姿は、後輩の良き手本となってくれたと確信している。

バスケットボール部 女子

結果

	$\left(\begin{array}{r} 3 - 22 \\ 14 - 14 \\ 16 - 9 \\ 21 - 12 \end{array} \right)$	
石部		膳所
54		57

講評(顧問より)

2年生5名、1年生3名、3年生6名で挑んだ試合である。

緊張しっぱなしであったため、立ち上がりが悪く、なかなか本来の動きを発揮することができなかった。

時間が進むにつれて、緊張もほぐれて、チームのリズムを取り戻すことができた。前半が終了した段階で、19点差であった。

しかし、後半では相手へ強くディフェンスプレッシャーをかけることができ、シュートミス誘発し、点数につなげることができた。同点にまで追いつくことができたが、冷静にシュートを入れることができず、敗戦を喫してしまった。

3年生も進路を決定した後に練習に参加し、調子をととのえることができた。後輩たちにとっても来年、再来年の自分たちの姿を想像することができ、先輩の役割を果たすことができた。また、歴代の卒業生なども土日の練習に参加してくれて、5:5の練習を行えるように協力してくれた。そのような繋がりを感じることもできた大会であった。

硬式野球部

平成30年度 秋季近畿地区高等学校野球滋賀県大会

結果

対玉川高校 7-14 (7回コールド負け)

講評(顧問より)

湖南農業・石部・信楽・甲南の4校連合チームでの出場となった。

試合は初回、先発の岡本(石部・1年)が先頭打者をレフトフライに打ち取ったかには見えたがこれが捕手の打撃妨害となりリズムを失うと玉川打線に捕まり3点を失う。2回には後を受けた竹村(石部・2年)も流れを止めきれず、さらに追加点を許した。その後も代わった投手が打ち込まれて大量14失点。打線は4番に入った竹村が2つの長打を含む3打点と気を吐くも、反撃は届かず7回コールド負けとなった。

文化部

吹奏楽部

第39回滋賀県高等学校総合文化祭

結果

守山北高校吹奏楽部と合同で出場し、福島弘和作曲「風姿花伝～秘すれば花～」を演奏した。

第43回全国高等学校総合文化祭さが総文への出場を希望し、県代表に選ばれた。↓

<https://sagasoubun.jp/main/3285.html>

講評（顧問より）

小編成のバンドはコンクールでは全国大会がなく、吹奏楽の世界では、光の当たりにくい側面がぬぐえないが、どんな人数のバンドでも意欲的に取り組めば全国の大舞台にのぞめるという希望を与えたい。また、合同バンドということで、今後も2校が切磋琢磨し、お互いに向上する関係を継続してほしいということで代表に選んでいただいた、と聞いている。

とても夢のある選考をしていただいたと感じている。

放送部

第39回滋賀県高等学校総合文化祭放送部門

結果

朗読部門に3名が参加した。

講評（顧問より）

入賞できず残念な結果に終わったが、それぞれが見つけた課題を次の大会につなげていきたい。

将棋部

第39回滋賀県高等学校総合文化祭将棋部門

結果

男子個人戦Ⅱ部リーグに2名出場した。1名は予選リーグ敗退。もう1名は決勝トーナメントに進出したが2回戦敗退。

講評（顧問より）

結果は残念なものだったが、対局内容は良くなってきている。練習対局を重ねて棋力の向上を図り、次の大会に臨みたい。